

都市再生整備計画 事後評価シート
小城中心市街地地区

平成 27年 3月

佐賀県小城市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県	市町村名	小城市	地区名	小城市中心市街地地区			面積	104ha					
交付期間	平成22年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成26年度	交付対象事業費	1,932百万円	国費率	0.45							
1) 事業の実施状況	平成27年3月 佐賀県小城市	基幹事業	地域生活基盤施設(勢屯ポケットパーク整備事業)、高次都市施設(再活性化拠点整備プロジェクト・まちなか市民交流プラザ整備)											
		提案事業	地域創造支援事業(まちなか市民交流プラザ等施設整備基本計画策定事業、商店街元気づくり事業、中心市街地商店街再生エリアマネジメント推進事業、中心市街地まちづくり活動支援事業、小域城下町・羊羹のまちの駅ネットワーク構築事業)											
	当初計画から 削除した 事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		基幹事業	地域生活基盤施設(各種サイン整備事業(情報案内板))		拠点施設(交流プラザ・小域公園・JR小域駅)の整備完了が計画期間未了となっており、各施設の整備内容等を反映させた情報案内板の設置を行うために設置時期の見直しが必要のため、基幹事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
			高質空間形成施設(風情ある公園道路整備事業・市道小域公園線)		公共下水道との整備時期の調整が必要となり、整備時期の見直しが必要のため、基幹事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
			高質空間形成施設(風情ある道路(小路)整備事業・市道大手町岡町線)		公共下水道との整備時期の調整が必要となり、整備時期の見直しが必要のため、基幹事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
			高質空間形成施設(風情ある道路(小路)整備事業・市道桜岡小学校・鯖岡線)		公共下水道との整備時期の調整が必要となり、整備時期の見直しが必要のため、基幹事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
		提案事業	地域創造支援事業(既存建築物除去)		「まちなか市民交流プラザ整備」の中で既存建築物除去を行うため、削除する。			影響なし						
			地域創造支援事業(商店街等景観整備事業(ファサード整備支援))		街路事業の実施に伴い、新たな店舗等の整備状況を考慮し、事業実施時期の見直しが必要のため、提案事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
			地域創造支援事業(小域城下町700年祭プロジェクト)		実施主体及び関係機関等との協議により、事業期間の見直しが必要となったため、提案事業から関連事業に位置づける。			影響なし						
			まちづくり活動推進事業(レンタサイクル社会実験)		厚生労働省の補助金(緊急雇用創出事業補助金)の活用により事業を実施しているため、提案事業から削除し、関連事業に位置づける。			影響なし						
			新たに追加した 事業	基幹事業	地域生活基盤施設(JR小域駅周辺環境整備事業・駅前広場整備)		整備計画が滞り、事業を着工するため追加する。			影響なし				
		地域生活基盤施設(JR小域駅周辺環境整備事業・駐車場整備)			整備計画が滞り、事業を着工するため追加する。			影響なし						
		地域生活基盤施設(JR小域駅周辺環境整備事業・駐輪場整備)			整備計画が滞り、事業を着工するため追加する。			影響なし						
		地域生活基盤施設(JR小域駅周辺環境整備事業・情報案内板整備)			整備計画が滞り、事業を着工するため追加する。			影響なし						
提案事業	高質空間形成施設(小域公園高質化推進事業・エントランス広場等の整備)			事業の実施に伴い、関連事業から基幹事業に位置づける必要があるため追加する。			影響なし							
	地域創造支援事業(小域公園高質化推進事業・バリアフリー道路、園内サインの計画整備)			事業の実施に伴い、関連事業から基幹事業に位置づける必要があるため追加する。			影響なし							
	地域創造支援事業(JR小域駅周辺環境整備事業・整備計画策定事業)			JR小域駅周辺環境整備事業を実施するに当たり、JR等との最終協議を行うために整備計画を策定する必要があるため追加する。			影響なし							
	地域創造支援事業(JR小域駅周辺環境整備事業・駅舎修繕整備)			整備計画が滞り、事業を着工するため追加する。			影響なし							
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			変更なし								
	変更	平成22年度～平成26年度												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	指標1	中心市街地の歩行者・自転車通行量	人/日	1,818	H20	1,880	H26	1,831	1,843	△	あり なし	旧小城市役所小域庁舎が廃止された影響が大きく、目標値を達成することはできなかったが、JR小域駅や小域公園など地区内の施設の整備を進めるとともに、まちの駅ネットワーク等で周辺性を向上させたことは、当該指標の改善に貢献したものと考えられる。また、小域駅前広場、小域公園エントランス広場、市民交流プラザの完成により、歩行者・自転車通行量の更なる増加に寄与するものと考えられる。	平成28年10月
			指標2	中心市街地商店街の年間小売販売額	百万円/年	2,469	H16	2,470	H26	2,316	2,189	△	あり なし	当該計画の策定後、地区外で新たな大型店舗が出店されたこと等が小売販売額減少の主な要因と考えられる。ただし、商店街元気づくり事業や景観性向上に関する事業を進めてきたことで、買い物客の減少を少しでも食い止めることができたものと考えられる。
		指標3										あり なし		
		指標4										あり なし		
		指標5										あり なし		
		3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標	地域住民が感じる市の住みやすさ(住民アンケート調査)	%	9.9	H18							
空き店舗率	%			21.4	H21								空き店舗・空き家等を活用した新たな出店に対する助成や、中心市街地内の清掃活動、花の景観づくり運動等、地区住民が自主的に行うまちづくり活動に対して助成を行う活動を続けたことが空き店舗率の減少に寄与したものと考えられる。	平成28年度中
4) 定性的な効果発現状況	小域公園、JR小域駅、交流プラザ等の計画時にワークショップを開催するなど住民を巻き込んだ取組を行うことで、住民の主体的にまちづくりに携わる意識が向上した。													
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況			今後の対応方針等							
	モニタリング	・中心市街地の歩行者・自転車通行量調査 ・中心市街地商店街の年間小売販売額調査		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● 毎年、従前値と同様の計測方法を実施予定。							
	住民参加プロセス	・小域公園高質化推進事業/測量・基本設計に係る市民ワークショップ ・JR小域駅周辺環境整備事業/整備計画策定に係る市民ワークショップ ・(仮)まちなか市民交流プラザ整備基本計画策定に係る市民ワークショップ ・中心市街地景観形成ガイドラインの作成に向けた懇話会(住民ワークショップ)及び地元区長との意見交換会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● まちづくり計画やガイドラインを作成するにあたっては、今回のように地域住民と協働して取り組んでいく。							
持続的なまちづくり体制の構築	・「小域まちの駅ネットワーク」の構築 ・小域本町まちづくり推進協議会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			● ● ● まちの駅ネットワークの登録店を増やすため、広報周知を行うとともに、まちの駅の利用者ニーズを収集し、よりよいサービスを検討していく。 また、小域本町まちづくり推進協議会では「小域本町まちづくり構想」に掲げる「5つの基本方針」を具現化するため、定期的な協議を行いながら取組を実施していく。								

様式2-2 地区の概要

小城中心市街地地区(佐賀県小城町) 都市再生整備計画事業の成果概要

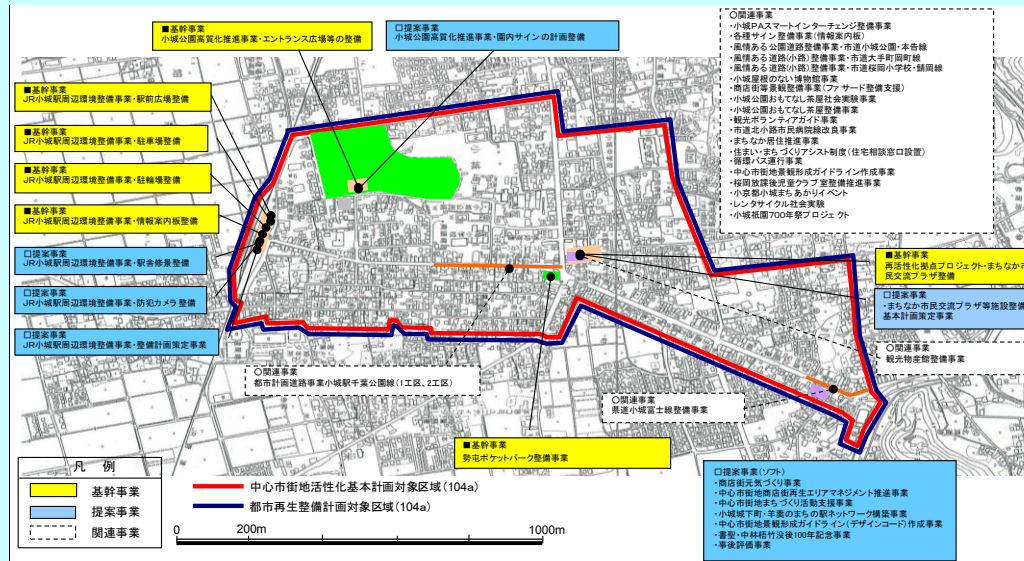
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:『住んでよし、訪ねてよし、和で織りなす味わいのある美しい城下町』 ~歴史と伝統から織り上げられた文化が発酵する味わいのあるまちの特性を活かし、1200年間の資産を守り、育み、つなぐ、和で織りなす美しいまちをつくる~ 目標1: 城下町や羊羹など地域の特徴を活かした交流人口の拡大 目標2: 魅力的な都市・商業空間の充実による暮らしやすい環境づくり	中心市街地の歩行者・自転車通行量	単位: 人/日 1,818	H20	1,880 H26	1,843 H26
	中心市街地商店街の年間小売販売額	単位: 百万円/年 2,469	H16	2,470 H26	2,189 H26
	地域住民が感じる市の住みやすさ(住民アンケート調査)	単位: % 9.9	H18	- -	21.7 H26
	空き店舗率	単位: % 21.4	H21	- -	15.7 H25



【整備された小城公園の駐車場】



【整備された小城駅の駐輪場】



【市民交流プラザの完成イメージ】



【整備されたポケットパーク】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○現在事業中のももあるが、小城公園、JR小城駅等における整備を進めてきたことで、地区内の拠点施設が充実しつつある。 ○各種イベント(書聖・中林梧竹没後100年記念事業等)を開催することで、地区内のにぎわいを創出することができた。 ○まちづくりにおける市民参加やまちの駅ネットワーク化等を通じて、官民あるいは地域住民間の連携を高めることができた。 ○小城公園、小城駅等の拠点施設間を結ぶ歩行者の回遊性を向上させることが求められる。 ○自動車利用者についても、商店街を訪れやすい環境にしていくことが求められる。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○再整備を進めている小城公園やJR小城駅、新たに整備する市民交流プラザなどの拠点施設を活用して、子供から高齢者まで楽しむことができるイベントを継続的に開催するとともに、イベント開催時には、広報の方法あるいは会場までのアクセス性についても考慮するなど、集客性が高まるよう検討を進める。 ○今回の計画によってハード面の整備が充実してきたため、今後はその効果を最大限活用できるよう、官民協働の考えに基づく適切な役割分担により中心市街地の活性化の取組を推進していく。 ○地域住民や観光客が中心市街地内を楽しんで歩けるように、沿道景観の向上や歩行者等の周遊性を高めるための方策を検討する。 ○将来、整備が予定されているスマートICや多久佐賀道路の利用者を中心市街地に誘導するための仕組みづくりを検討する。